



第72回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子

令和7年6月21日 15:20 開始

準々決勝

グリーンアリーナ神戸 B

近畿大学附属 44

14	1st	13
10	2nd	15
8	3rd	21
12	4th	22

71 ◎ 報徳学園

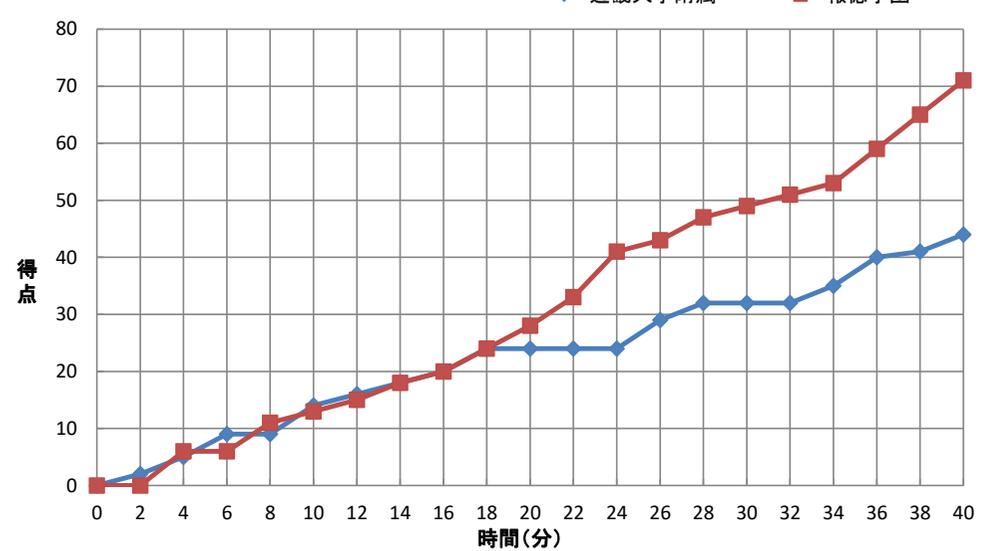
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
1	西原 知道	0	0	0	0	0	1	山本 勇生	15	2	4	1	1
* 3	石井 大	8	0	2	4	0	8	澤山 陸	2	0	1	0	1
* 11	和氣 有希	15	2	4	1	3	* 11	早崎 心	2	0	1	0	0
12	宮田 怜	-	-	-	-	-	19	浅井 智也	0	0	0	0	1
* 17	田中 瑛大	4	0	2	0	3	20	藤原悠粋	0	0	0	0	1
18	岡田 大輝	0	0	0	0	0	* 34	松本 晃瑤	16	0	6	4	1
19	中野 颯斗	0	0	0	0	0	36	吉田 智希	4	0	2	0	2
22	坂野 陽々登	0	0	0	0	0	* 43	トンプシ クリントン	9	0	4	1	2
24	南野 颯汰	2	0	1	0	2	44	中西 淳希	4	0	2	0	1
* 27	大森 仁碧	4	0	2	0	3	* 46	西谷 泰地	15	5	0	0	0
30	高橋 太一	8	2	1	0	1	47	野々部 旺樹	-	-	-	-	-
* 31	金城 大獅	1	0	0	1	2	48	綾 終汰	0	0	0	0	2
34	美坂 凜優	-	-	-	-	-	54	小松 龍太郎	2	0	1	0	1
35	川崎 正義	2	0	1	0	0	72	寺尾 文太	2	0	1	0	1
85	森川 晴太郎	-	-	-	-	-	* 82	寺澤 煌月	0	0	0	0	2
コーチ	山本 悠真						コーチ	田中 敬					
Aコーチ	大森 健史						Aコーチ	更谷 和則					
合計		44	4	13	6	14	合計		71	7	22	6	16

クルーチーフ: 佐藤 慎士

1stアンパイア: 笹川 尚宏

2stアンパイア: 大正谷 臣

得点経過



TO	1・2Q	3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	15:57	19:16	23:00	33:57	36:37	:	:
TeamB	17:43	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕

【第1Q】

ディフェンスは両者マンツーマン。報徳#46西谷が連続で3Pシュート決めリードを奪うが、近大附属#11和氣の3Pシュートなどが決まり、近大附属もスコアを伸ばしていく。両者激しいディフェンスで流れをつかもうとするが、膠着状態が続く。残り1分近大附属は1-2-2のオールコートプレスを仕掛け流れを掴む。14-13と近大附属が1点リードをして第1Qを終える。

【第2Q】

第1Q同様、一進一退の攻防が続く。5分が過ぎたところで20-20の同点。その後、近大附属がゾーンを仕掛けるが点差は開かず、残り1分。報徳が#34松本がミドルジャンパー、単独速攻と2連続でスコアし、最終24-28と報徳4点リードで前半終了。

【第3Q】

報徳は#34松本のドライブ、#46西谷の3Pシュートでオフェンスのリズムをつかみ、そのままスコアを重ね報徳が連続10得点。残り7分、14点差がついたところでたまたま近大附属がタイムアウト。しかし、報徳の勢いは止まらず、更に点差を広げる。残り5分、近大附属は#27大森から#11和氣への合わせが決まり、後半初得点を記録。その後は流れが拮抗し、両者シーソーゲームを展開する。32-47で第3Q終了。

【第4Q】

報徳は第3Qの流れそのままにスコアを重ねる。対する近大附属は#11和氣の個人技を中心に反撃するがその差は縮まらない。報徳は、ハードなディフェンスからターンオーバーを誘い、#34松本のバスケットカウント、#46西谷の3Pシュートなどで点差を広げ、最終スコア44-77と33点差をつけて勝利した。

戦評: 佐々木 俊祐

記録: 県立明石高等学校